

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄  
 No. 177

【様式 2】

エントリー学校名：広島県広島市立落合小学校

活動名： 学校評価プロジェクト  
 ～思いを繋ぐ組織マネジメント～

解決すべき課題：「教職員の学校経営参画意識と組織力の向上」

学校教育目標の具現化を目指し、取組を重点化した経営計画のもと学校の課題を自分事として捉え、学校評価の PDCA サイクルを効果的に回し、工夫・改善しながら繋ぐ視点で組織力の向上を図る。

目標・方針：

- (1) 管理職が連携（校長と教頭の協同、戦略的役割分担）して組織マネジメントを行う。
- (2) 校内学校評価委員会の定期的な開催と教職員メンバーの見直し（増員）
- (3) PDCA サイクルを効果的に回すことで繋ぐ各部の思いや役割の明確化と工夫・改善の共有

活動内容：

- (1) 学校の課題を教職員が自分事として捉え、より学校経営参画意識が育つよう、管理職が事前に打ち合わせを行い戦略的役割分担のもと会議を行った。また、組織の中核を担う教職員の人材育成として校長推薦の研修に派遣し、研修の成果を校内に生かすようにした。  
 ※学校評価の PDCA サイクルがより主体的で実効性のあるものとなるよう学校評価の意義や学校評価のプロセス（図1）、目指す学校像（図2）等具体的な資料を提示し共有化を図った。
- (2) 企画運営委員会（兼 校内学校評価委員会）のメンバーを各部のリーダーとしていたが、新たにサブリーダーを加え倍の人数で行うこととした。※組織におけるダイバーシティとなるようマネジメント
- (3) 前年度末学校評価の総括で明らかとなった成果と課題→年度始めに各部による短期経営目標における具体的な方策の設定（年度末の総括を踏まえ目指す子供像に向けての思いの共有）→学校評価委員会で実効性のある取組であるかを検証→各部に持ち帰り再度吟味、修正→PDCA サイクルへ

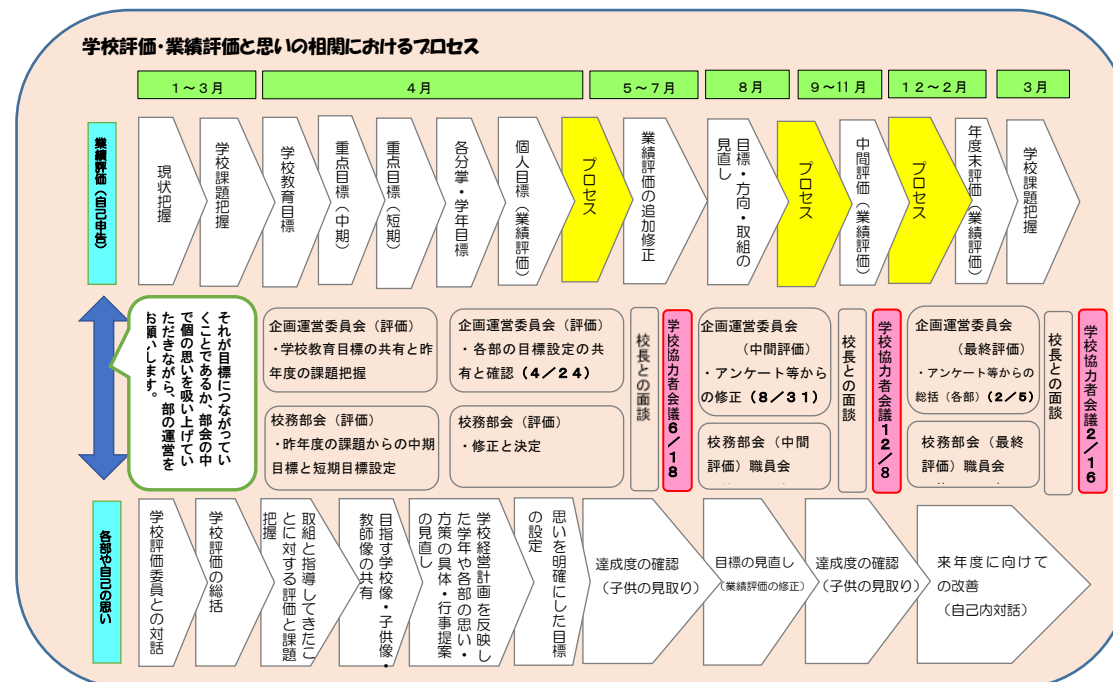
活動の成果：

- 管理職が目指す組織の姿を共有し、協同して戦略的な会議の運営を行ったことで、教職員の学校経営参画意識の芽生えや向上に繋がった。
- 教務主任による全教職員を対象とした学校評価研修を実施（写真1）→学校評価に対する理解へ
- 企画運営委員会のメンバーをリーダー・サブリーダー制にしたことで、若手、中堅、ベテランとバランスの取れた各年代の教員で構成することができた。これにより新たな取組の発案やこれまでのやり方を大幅に見直す視点を獲得ことができ、会議が多様な意見を出し合える建設的な場となった。
- 学校評価委員会の年間計画に組み込んだ計画的な実施により、実効性のある PDCA サイクルとなった。中間報告（表1）では、後期に向けての取組案や期待する変容について活発な意見交流ができた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

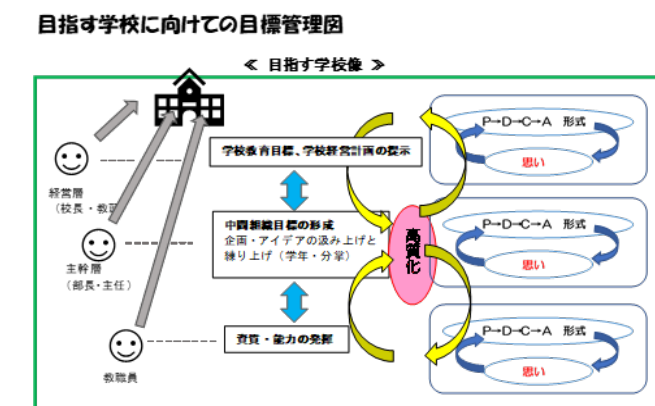
- 学校評価への理解や学校教育目標の具現化に向けた組織としての意識を高めるために、管理職が明確な役割分担のもと戦略的な組織マネジメントを行った。
- 学校評価委員会のメンバーを見直すことで、より多様な意見や活発な議論が行われるようになった。
- 学校評価委員会を年間計画に定期的に位置付けたことで計画的に PDCA サイクルを回せるようになった。

【図1】 学校評価・業績評価と思いの相関におけるプロセス



個の思いを組織に繋ぎ、チームとして学校教育目標の具現化に向けて取り組むための全体像

【図2】 目指す学校に向けての目標管理図



【写真1】学校評価研修

教務主任による全教職員対象の学校評価研修



中間報告会における感想・意見（教職員アンケートより）

- 学校経営に参画しているという意識が今までより高くなった。
- 途中で振り返ることは、取組を検証すると同時に改めてみんなで目指す方向について意識統一することに繋がった。
- 目標達成のための各部の取組について様々な意見を出し合うことでさらに良い改善策が生まれた。
- 改善策をもって会議に参加する、具体的な取組案などについて相談タイムを設けるなど、会議の持ち方をさらに工夫するとよい。
- 今後は、細かな PDCA を各部会の中で定期的に行っていくことも必要。

【表1】 各部による中間報告一覧

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1. 学校評価委員会の中間報告										
2. 企画運営委員会の中間報告										
3. 教務主任の中間報告										
4. 教頭の中間報告										
5. 校長の中間報告										

The table shows the intermediate reports from various departments. It is organized into columns representing different departments and rows representing different aspects of the school's operations. The table includes sections for '評価（4段階）' (Evaluation in 4 stages), '根拠' (Evidence), '前期における成果とその要因' (Achievements and factors in the previous period), '後期に向けての課題とその要因' (Issues and factors for the next period), and '取組案' (Action plan). The table is filled with detailed text and data, providing a comprehensive overview of the school's progress and challenges.